

# 新潟市 浸水ハザードマップ (中央区)

## 保存版

いざという時に確認できるように他の防災マップと合わせて保管しましょう



「平成10年8月4日浸水被害状況」

この浸水ハザードマップは、市内で記録された過去最大の大雨が降った時の浸水状況などを示したものです。

河川の堤防の決壊などによる洪水の場合は、「洪水ひなん地図」(平成18年3月)を参考にご覧ください。

本マップ及び下水道計画についてのお問い合わせ先  
新潟市 下水道部 下水道計画課  
TEL:025-226-2979



新潟市下水道キャラクター「水玉ぼうし」

H24・5月版

## 新潟市浸水ハザードマップの目的

近年、下水道の雨水排水能力を超える局地的な集中豪雨によって大規模な浸水被害が発生する都市型水害が頻発しています。

新潟市においても平成10、19、23年に記録した集中豪雨により、床上・床下浸水や道路冠水等の被害が多発しました。このような都市型浸水は年々増加の傾向にあります。

都市部(市街地部)では、地表のほとんどが建物やアスファルトに覆われているため、雨水が地下にしみ込みにくく、短時間に大量の雨水が下水道、河川に集まります。雨水が下水道の能力を超え、側溝や雨水ますからあふれ、浸水被害が発生する可能性が高くなります。

この浸水ハザードマップは、浸水区域とその深さおよび避難所などを示したものであり、市民の皆さんに自分の住んでいる場所の状況を把握してもらい、浸水被害を防除・軽減するために活用していただくものです。



## 新潟市浸水ハザードマップとは

この浸水ハザードマップは、下水道で整備している以上の大雨が降った場合や河川がはん濫してなくても河川に放流できない場合に雨水が溢れて発生する浸水を想定し、浸水区域とその深さを表示するとともに、浸水への対応や避難所などを示したものです。

**想定条件** ● 想定している降雨の規模は、平成10年8月4日に観測された降雨(時間最大:97mm:新潟観測所)であり、浸水被害をもたらした降雨量です。 ※時間最大雨量97mmの降雨とは、1時間に最大で97mmの雨が降る降雨のことです。

※本マップはあくまでも上記の想定条件における浸水状況を予測したものであり、想定以上の雨が降るなど雨の降り方が異なる場合には、想定される浸水区域が異なることがあります。

## 新潟市浸水ハザードマップの作成方針

新潟市浸水ハザードマップは、これまでに浸水被害が大きかった地区から順次作成・公表をしていきます。

また、浸水対策の整備が進んだ場合や流域の状況に変化があった場合には、必要に応じて随時見直し(更新)をしていきます。

# 浸水と洪水の違いについて

浸水ハザードマップの適用範囲は、河川の堤防の決壊や河川から溢れた水によるはん濫のはじまる前までの範囲となります。



浸水ハザードマップの適用範囲



非常に激しい雨が降ると



雨水が下水道などで全て排水できずにたまります。

浸水（内水はん濫）の発生

## 内水はん濫

降った雨が下水道の能力を超えると浸水します



ポンプ所

降った雨が流れる場を失って、あふれる現象を「内水はん濫」といいます。

洪水ひなん地図



さらに雨が降り続けると、河川の水位が上昇し、堤防が決壊する恐れがあります。



堤防が決壊すると多大な被害が発生します。

洪水（外水はん濫）の発生

## 外水はん濫

堤防を越えて河川の水が流れ込んできます



堤防の決壊箇所から河川の水が流れ込んできます

堤防から河川の水があふれだしたり、堤防が決壊するなどして、河川の水が流れ出す現象を「外水はん濫」といいます。

# ハザードマップの 使い方について

大雨の際に自宅が浸水するかをハザードマップにて確認し、避難所の位置、避難経路を確認しておきましょう。



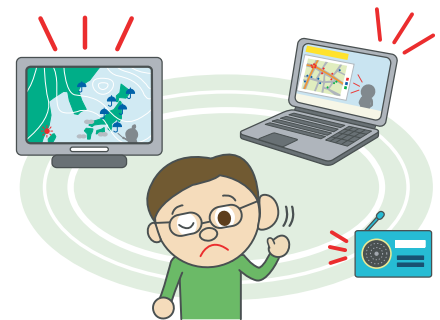
## ① 自宅の位置に印をつけましょう

自宅の位置に印をつけたら、自宅の浸水深を確認しましょう。また、その浸水深がどの程度の深さなのかを、マップ内の「浸水深の目安」を参考にして確認してください。



## ② 自分たちの避難方法を確認しましょう

内水はん濫では、浸水深が小さいため一般住宅では2階へ、集合住宅では2階以上へ避難することが安全な場合も考えられます。(所有者や居住者から事前に了解を得ておくとうい)ただし、より多くの雨が降った場合に河川の堤防の決壊や河川から溢れた水によってより大きな浸水の恐れがあります。その際には、避難情報(テレビ、ラジオ等)にしたがい避難してください。



## ③ 実際に経路を歩いてみて安全か確認しましょう

設定した避難経路を実際に歩いて、地図に記載されていない地形(階段や地形変化等)や避難にかかる時間等を確認しましょう。歩く際も洪水をイメージし、安全に避難が行えるように準備しましょう。



## ④ 地域で協力して、より良いマップにしましょう

地域の方々と、災害や避難について話し合い、情報を共有しましょう。また、高齢者等の避難に援助が必要と思われる方についても、地域でできることを考え、市民のみなさんの安全が確保できるようにしましょう。



# 避難について

気象情報を確認し、万が一浸水した場合に備えて、以下の避難行動をとりましょう。



## 大雨が降ってきたら

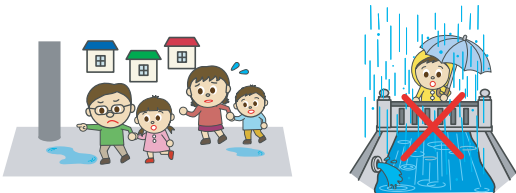
**一般住宅では2階へ、集合住宅では2階以上へ避難するなど安全な場所へ一時的に避難して下さい**

自分の家族やすまいだけでなく、隣近所にも目を向けましょう。特に一人暮らしの高齢者など、災害時に援護が必要な方には、ふだんからの気配りが大切です。



**避難所へは避難情報にしたがって移動してください**

避難時は、川や橋には絶対に近づかないでください。市が発信する避難情報にしたがって避難所へ避難して下さい。



**マンホールの異常を発見したら**

大雨によりマンホールのふたが外れることがあります。危険ですから近寄らないでください。また、発見した時は下水道管理センターへ連絡をお願いします。  
電話番号：025-281-9062

**車を高台や浸水しない区域へ移動して下さい**

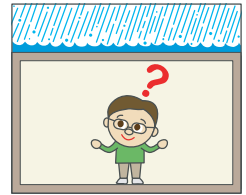
車を移動させる際には、他の交通や水防活動の妨げにならないようにして下さい。

**半地下住宅や地下駐車場では雨が降り始めたらすぐに上階へ避難してください**

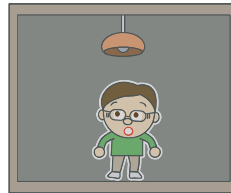
地上が冠水すると一気に水が流れ込んできます



地下室では外の様子がわかりません



浸水すると電気が消えます



水圧でドアが開きません



**大雨の時には大量の水を排水するのを控えましょう**

大雨の時はお風呂に入ったりシャワーを使うのは控えましょう。

下水(合流式)から溢れる水害が多いので、大雨のときは大量の水を下水に排水するのは控えましょう。



## 雨の強さチェック

避難の心構えとして雨の様子をチェックすることが大切です。日頃から雨が降り出したら、どの程度の雨なのか観察してみてください

**やや強い雨**  
(1時間に10~20mmの雨)



雨の音がよく聞こえ、地面に水たまりができる場所もあります。

**強い雨**  
(1時間に20~30mmの雨)



土砂降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。テレビ、ラジオなどで情報を収集し、長引きそうなら注意や警戒が必要です。

**激しい雨**  
(1時間に30~50mmの雨)



バケツをひっくりかえしたような激しい雨。河川の溢水、下水のあふれ、崖くずれがおこりやすくなります。建物の2階以上へ避難できる準備が必要です。

**非常に激しい雨**  
(1時間に50~80mmの雨)



滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。道路が冠水し、水害発生の危険性が高まります。速やかに建物の2階以上へ避難して下さい。

**猛烈な雨**  
(1時間に80mm以上の雨)



大規模な浸水が発生する恐れがあります。建物の2階以上へ避難・待機しつつ、市の広報車・防災無線・警察・消防からの避難情報に注意して下さい。

# 目頃からの備え について

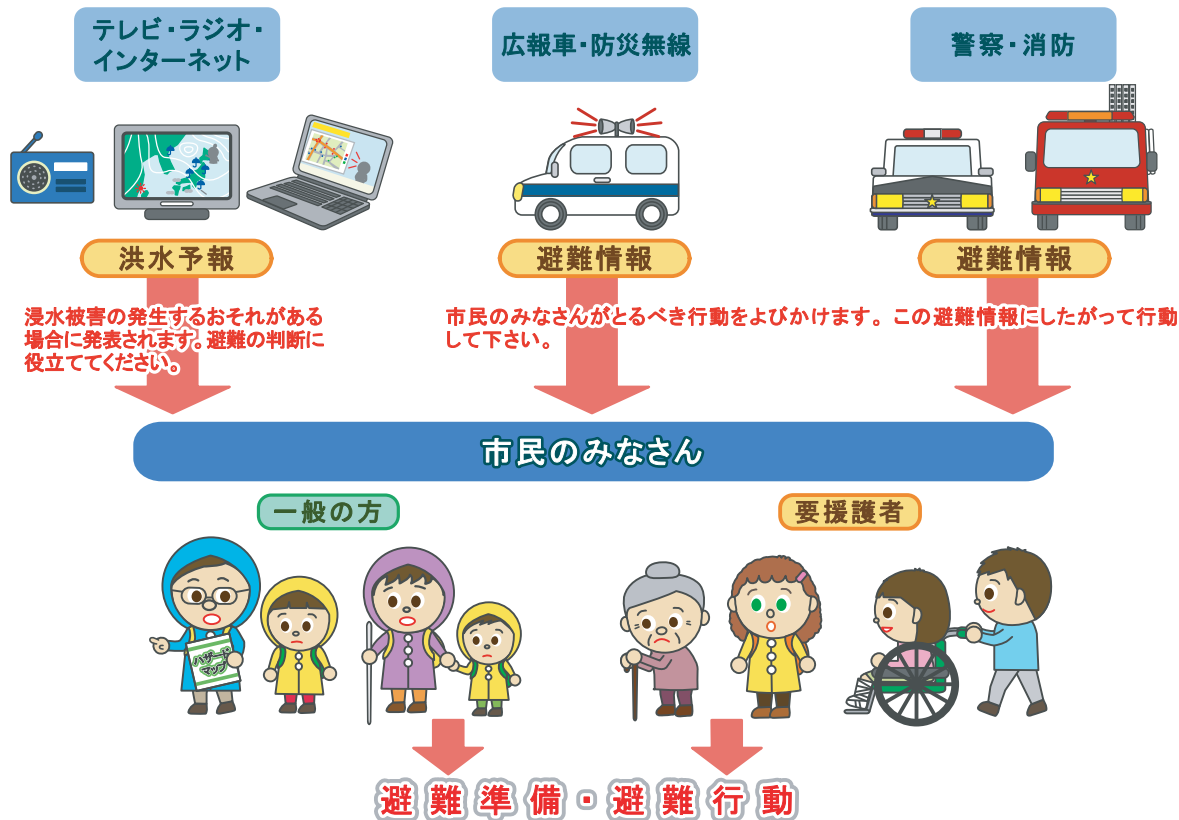
災害は突然やってきます。  
被害を未然に防いだり、軽減するためには、  
普段から皆さんの心構えと備えが大切です。



## 浸水被害から身を守るために、目頃からの備えをしましょう。

市の広報車・防災無線・警察・消防をとおして呼びかけられる避難情報によく注意しましょう。  
もし大雨が降ってきたら、気象庁や国土交通省から発表される洪水予報をテレビ・ラジオ  
・インターネットなどで情報収集し、避難活動の判断に役立てましょう。

### 情報の伝達手段・経路



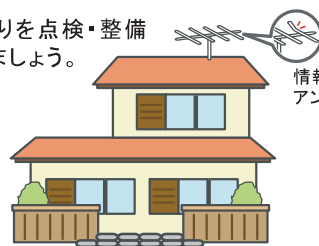
避難所の開設情報は、市からの各種広報でお伝えるほか、消防団、自主防災組織等から呼びかける避難準備、避難勧告、避難指示で分かります。個別に避難所が開設しているかを確認したいときには、避難所一覧に記載されている電話番号へご連絡して頂くか、もしくは防災メールサービスでも確認ができます。（メールサービスは事前登録が必要です）

## 目頃から浸水（水害）に備えましょう



必要最低限の持ち出し品の  
事前準備をしておきましょう

家のまわりを点検・整備  
しておきましょう。



情報収集のため  
アンテナの補修など

浸水に備えて土のうの準備

※集中豪雨などの緊急時に備えて、土のうを用意しています。必要な人は中央区役所建設課（電話025-223-7420）へお問い合わせください。

# 災害情報 について

気象や河川についての情報が、ホームページ  
などで見られます。



## 北陸地方、新潟県の災害情報・気象情報・河川情報など

### 国土交通省北陸地方整備局ホームページ

- <http://www.hrr.mlit.go.jp/> 信濃川、阿賀野川の情報も見られます。

### 国土交通省防災情報センターホームページ(川の防災情報)

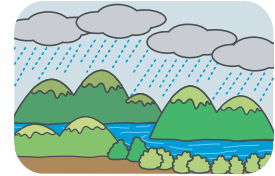
- <http://www.river.go.jp/>
- 携帯 <http://i.river.go.jp/>

### 新潟県土木防災情報システム

- <http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/>

### 気象庁ホームページ

- <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>



## 新潟市の地域ごとの雨量、風速、風向

### 新潟市危機管理防災情報のホームページ

- <http://www.city.niigata.jp/info/bousai/index.html>



## メールサービスによる新潟市防災情報の入手先

### にいがた防災メールサービス

新潟市では、新たな防災情報伝達の手段として、「にいがた防災メール」の配信サービスを導入しております。災害に対する備えとしてお役立ていただくため、多くの皆様の登録をお願いします。

- 登録用アドレス  
<http://www.city.niigata.jp/info/bousai/1jijo/niigatabousaimail/niigatabousaimail.htm>



### 気象観測データのメール配信(減災ラボWITHにいがた)

市内25箇所の気象観測点において浸水被害の発生するおそれがある雨量が観測された場合、登録いただいた方へメールが配信されます。《有料サービス》

- 登録用アドレス  
<http://www.city.niigata.jp/info/bousai/1jijo/kisyo-mail/kisyo-mail.htm>  
お問い合わせ先電話番号: 危機管理防災局危機対策課直通 025-226-1146

## 皆様のご協力をお願いします

### お近くの雨水ますや側溝の点検・清掃を

雨水ますや側溝に泥や落ち葉、ゴミが詰まると、浸水の原因になります。家の近くの雨水ますや側溝の点検・清掃にご協力をお願いします。



# 浸水予防情報 について

みなさんの住宅などを浸水から守るための助成制度がありますので活用して下さい。



## 防水板設置等工事助成制度について

大雨による住宅や店舗などへの浸水を防ぐため、敷地内に設置する防水板の助成制度をご利用いただけます。詳しい内容は、中央区役所建設課(TEL:025-223-7403)、若しくは東部地域下水道事務所(TEL:025-281-9562)へお問い合わせください。

### 防水板設置助成

- 助成対象者:新潟市内に家屋、店舗、事務所等を所有または使用する方
- 助成区域:浸水被害(床上・床下・店舗・車庫浸水)が発生した、又は発生する恐れがある区域の家屋、店舗、事務所等

### ■ 工事費に対する助成率

区分	助成率	上限額(建物1棟当り)
個人	4/5	100万円
法人	2/3	

### || 設置例 ||



## 住宅かさ上げ助成制度について

集中豪雨や窪地などの地形的な要因により発生する浸水被害から市民のみなさまの貴重な財産を守るため、住宅等のかさ上げについて、助成制度をご利用いただけます。詳しい内容は、下水道計画課(TEL:025-226-2979)へお問い合わせください。

### 住宅かさ上げ助成

- 助成対象者:新潟市内に住居を所有する方で、平成21年4月1日以降の工事が対象  
※かさ上げ前の住宅高さの確認が必要となります。  
※既に工事を実施済み実施中のものは対象外です。
- 助成区域:平成10年8月4日及びそれ以降に床上浸水被害が発生した区域

### ■ 工事費に対する助成率 ■

助成率2/3、上限額200万円(揚家(既存住宅の土台上げ)を伴う場合は300万円)  
(標準工事単価×建築面積×2/3=助成額)

ただし、支払額が標準価格より安価になる場合は、その支払額の2/3

※平成26年度まで防水板や住宅かさ上げの助成については、期間限定措置として助成率及び助成限度額を引き上げています。



# 新潟市 浸水ハザードマップ 中央区編

## ● 新潟市浸水ハザードマップとは ●

この浸水ハザードマップは、河川のはん濫がはじまる前までを想定しており、下水道の雨水排水能力を上回る雨が降った際、下水道の能力不足や河川の水位が上昇し雨水を排水できない場合に浸水の発生が想定される区域と深さを表示するとともに、浸水への対応や避難所などを記載したものです。

### ＜想定条件＞

- (1) 想定している降雨の規模は、これまでに新潟市で観測された最大の降雨平成10年8月4日降雨(時間最大雨量:97mm:新潟観測所)であり、浸水被害をもたらした降雨です。
- (2) 河川や下水道施設の排水能力は、平成23年度末時点のものです。
- (3) 想定を超える大雨が降った場合や、河川のはん濫等は考慮していませんので、実際の浸水区域や浸水深がこの図より大きくなる場合があります。

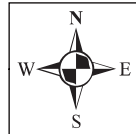
### ＜想定降雨の説明＞

想定降雨は、平成10年8月4日に観測された既往最大降雨であり、甚大な浸水被害をもたらした降雨です。  
この降雨は、下水道の排水能力を上回る時間最大雨量97mmと大きな降雨であり、またこの降雨の際には、河川のはん濫がない状況で浸水被害(内水はん濫)が発生しました。

※時間最大雨量97mmの降雨とは、1時間に最大で97mmの雨が降る降雨のことです。

避難所一覧			
NO.	施設名	所在地	電話番号(025)
1	人形小学校	稲前町 3番11	229-2682
2	東小学校	東町 3丁目 5920-2	223-6558
3	関屋小学校	関屋町川原町2丁目 030	226-2106
4	豊南小学校	東方町 2518	222-6188
5	浸水小学校	吉町通 13番町 2900番地	228-2278
6	白山小学校	川原町 4丁目 0	222-6111
7	新南小学校	東大畑町 1丁目 010	228-3030
8	関屋小学校	関屋町川原町 2970-8	226-2101
9	浸水小学校	浜浦町 1丁目 1番地	266-3181
10	有明台小学校	有明台 4-1	266-7176
11	善居中学校	富所通 2番町 592-12	228-4923
12	舟栗中学校	東町 3丁目 4213	228-6547
13	川原中学校	川原町 2丁目 4	266-2136
14	二葉中学校	二葉町 2丁目 5932	228-4023
15	関屋小学校	関屋町 2丁目 0	226-2101
16	新南高等学校	関屋町川原町 2丁目 030	226-2191
17	新潟中央高等学校	学校町通 2番町 5317-1	229-2191
18	新潟商業高等学校	白山通 2丁目 039-2	226-3101
19	新潟女子大学	関屋通 3丁目 0386	224-2086
20	総合社会福祉センター	関屋町川原町 0385-1	233-0701
21	白前コミュニティハウス	白山通 2丁目 180-3	232-6411
22	関屋コミュニティハウス	関屋町 4丁目 566-1	266-1348
23	善居コミュニティハウス	西大畑町 617	228-8944
24	三葉コミュニティハウス	吉町通 13番町 5148-2	210-9275
25	コミュニティハウス(関屋白山)	本町通 3丁目 168-2	222-6601
26	総合福祉センター	関屋町 6-6	227-8226
27	方代長崎小学校	東方町 4番町 1	245-4488
28	浸水小学校	浜浦町 1丁目 0-1	267-9601
29	方代高等学校	沼津通 6丁目 9-1	241-0193
30	明鏡高等学校	沼津通 6丁目 1-1	246-3535
31	新潟商業高等学校	関屋町川原町 0386	226-7101
32	総合福祉センター	八千代町 9-1	248-7161
33	新潟中央高等学校	学校町通 1丁目 0-1	226-1688
34	新潟商業高等学校	関屋町川原町 0386	226-3601
35	白山小学校	川原町 4丁目 0-1	228-7238
36	関屋小学校	関屋町 2丁目 0	226-2101
37	関屋小学校	常竹山 1丁目 12-1	246-9225
38	上山小学校	常竹山 1丁目 12-28	284-5767
39	女連小学校	女連町 4-1	285-6795

避難所一覧			
NO.	施設名	所在地	電話番号(025)
40	鳥屋野小学校	茶沢町 2丁目 南番 7号	284-2253
41	上山中学校	女連上山 6丁目 1-13	284-0185
42	鳥屋野中学校	女連町 1丁目 81-1	285-2201
43	新潟南高等学校	女連町 1丁目 810番 1号	267-6881
44	新潟南高等学校	女連町 3丁目 6番 1号	283-0326
45	新潟女子大学	水山町 1丁目 20-20	246-6647
46	新潟女子大学	関屋町川原町 0386	226-2101
47	関屋小学校	関屋町 2丁目 1-21	228-2355
48	山道小学校	弁天橋通 3丁目 3-1	286-6796
49	山道中学校	山ニツ1-1	286-5369
50	高志高等学校	高志 1丁目 15-1	286-6911
51	山道会館	長尾 827	286-0155
52	食育・花育センター	清五郎 401	282-4181



### 凡例

**＜浸水深＞**

- 0.8m-1.0m
- 0.6m-0.8m
- 0.45m-0.6m
- 0.3m-0.45m
- 0.1m-0.3m
- 0m-0.1m未満

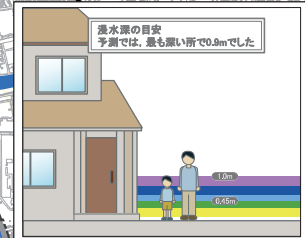
**区界**

**対象区域**

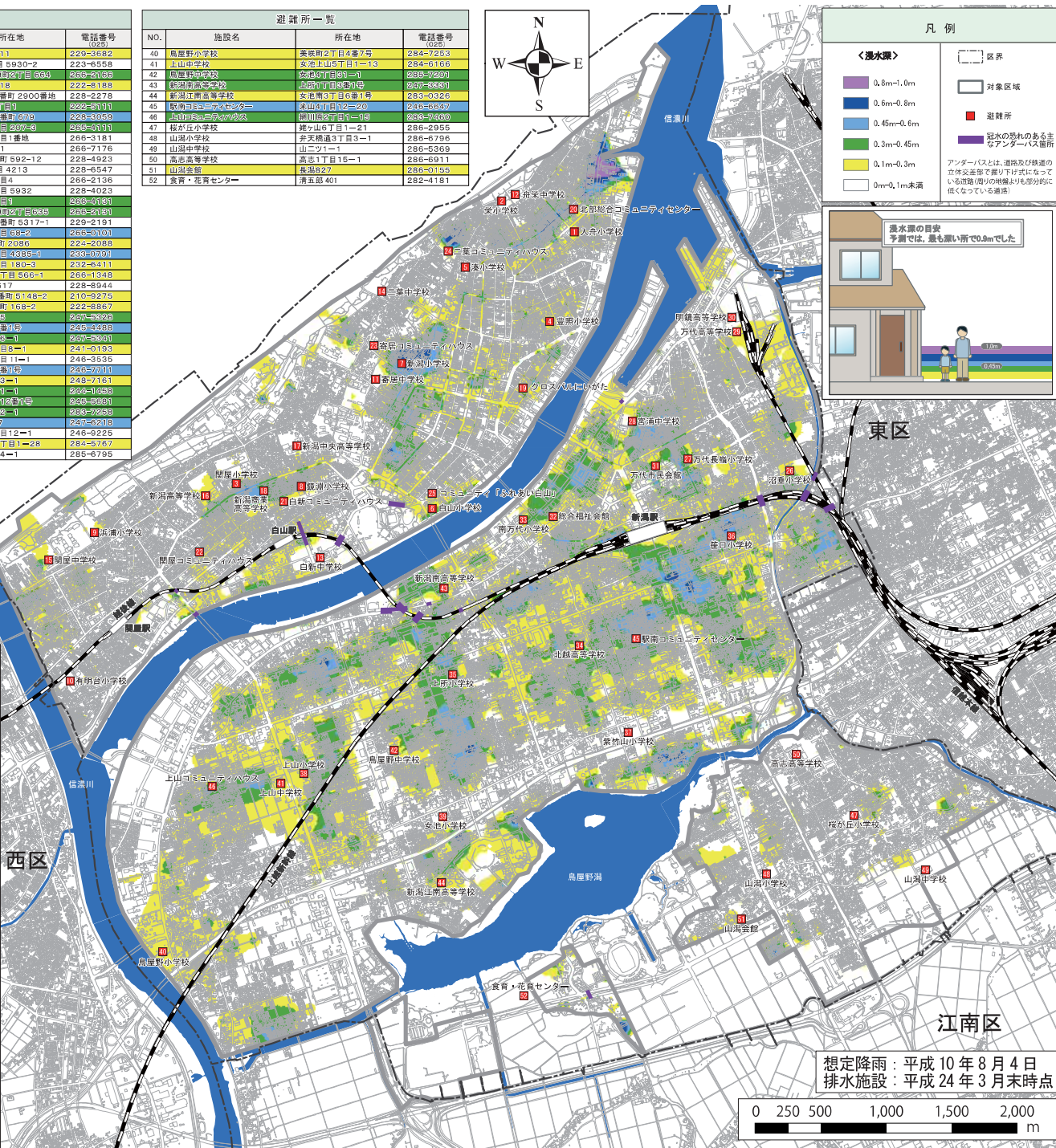
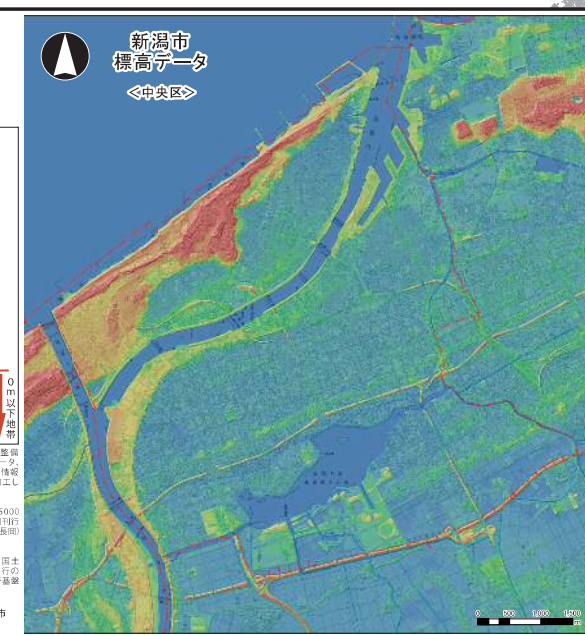
**避難所**

**浸水の恐れのある主なアンダーパス箇所**

アンダーパスとは、道路及び鉄道の立体交差部で降り下り式になっている道路周辺の地盤より部分的に低くなっている箇所



※着色は避難所周辺の浸水深を表しています。



想定降雨: 平成10年8月4日  
排水施設: 平成24年3月末時点

